

YAMAHA

L2 スイッチ SWX2110-16G SWX2110P-8G

はじめにお読みください（保証書付）

- ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
- はじめに「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。
- 本書はなくさないように、大切に保管してください。

付属品

- はじめにお読みください（本書、保証書含む）：1枚
- AC100V用電源コード：1本
- 電源コード抜け防止金具（付属AC100V用電源コード専用）：1個
- ゴム足：4個
- マグネットシート：1枚（SWX2110-16G: MGS-1710、SWX2110P-8G: MGS-2020）

別売品

ウェブサイトに掲載しています。別売品の取扱説明書や本製品のユーザーガイドを必ず読んでからご使用ください。

ウェブサイトのご案内

別売品・ユーザーガイドは、下記のウェブサイトに記載しています。https://network.yamaha.com/

マニュアルのご案内

本製品の利用シーンに合わせた下記のマニュアルを用意しています。目的に合わせて適切なマニュアルをお読みください。

- はじめにお読みください（本書）
- 本製品をお使いになるうえでの注意事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
- ユーザーガイド（ウェブサイト）

本製品や別売品の設置方法、接続方法、設定方法が記載されています。

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

人への危害や財産への損害を防止するために、ここに示した注意事項を必ずお守りください。お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

<ul style="list-style-type: none">点検や修理は、必ず下記の窓口にご依頼ください。 <ul style="list-style-type: none">お買い上げの販売店 本文書に記載のサポート窓口 本製品は業務用機器です。生命などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。 不適切な使用や改造による、あらゆる損失については補償はいたしかねますので、ご了承ください。

記号表示について

本製品や本文書に表示されている記号には、次のような意味があります。

⚠ 注意喚起を示す記号

🚫 禁止を示す記号

👉 行為を指示する記号

<div>⚠</div> <div>警告</div>

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が切迫して生じる」内容です。

異常に気づいたら

- 下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を遮断する。
 - 電源コード/プラグが傷んだ場合
 - 機器から異臭、異音や煙が出た場合
 - 機器の内部に異物や水が入った場合
 - 機器に亀裂、破損がある場合
- 電源を遮断するための操作は下記のとおりです。
 - 電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用を続けると、火災・感電・故障の原因になります。至急、点検や修理をご依頼ください。

<div>🔌</div> <div>電源</div>
<div>🚫</div> <div>落雷のおそれがあるときは、本製品や電源プラグやコードに触らない。感電の原因になります。</div>
<div>👉</div> <div>電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。誤って接続すると、火災・感電・故障の原因になります。</div>
<div>🚫</div> <div>電源コードが破損するようなことをしない。 <ul style="list-style-type: none">ストーブなどの熱器具に近づけない 無理に曲げたり、加工しない 傷つけない 重いものを乗せない ステープルで留めない 芯線がむき出しのまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。</div>
<div>👉</div> <div>日本国内AC100V（50/60Hz）の電源電圧で使用する場合は、必ず付属の電源コードを使用する。火災・感電・故障の原因になります。付属の電源コードは日本国内専用（125Vまで）です。AC200Vの電源電圧で使用する場合は、お客様でAC200Vに対応した電源コードをご用意ください。</div>

<div>🚫</div> <div>下記の付属品を他の機器に使用しない。 <ul style="list-style-type: none">電源コード 火災・やけど・故障の原因になります。</div>
<div>👉</div> <div>電源プラグを定期的を確認し、ほこりが付着している場合はきれいに拭き取る。火災・感電の原因になります。</div>
<div>👉</div> <div>電源プラグは根元まで確実に差し込む。感電やショートによる火災・故障の原因になります。</div>
<div>👉</div> <div>電源プラグは、見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。</div>
<div>👉</div> <div>長期使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。火災・故障の原因になります。</div>

<div>👉</div> <div>電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。確実に接地接続しないと、感電・火災・故障の原因になります。</div>
<div>👉</div> <div>本製品とPoE受電機器の接続には、PoE対応のLANケーブルを使用する。規格に適合していないケーブルやフラットタイプやスリムタイプのケーブルを接続すると、火災や故障の原因になります。</div>

分解禁止

- 本製品を分解したり改造したりしない。火災・感電・けが・故障の原因になります。

<div>🚫</div> <div>水に注意 <ul style="list-style-type: none">浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。内部に水などの液体が入ると、火災・感電・故障の原因になります。 ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。また、ぬれた手で本製品を扱わない。感電・故障の原因になります。</div>

<div>🚫</div> <div>火に注意 <ul style="list-style-type: none">本製品の近くで、火気を使用しない。火災の原因になります。</div>

<div>🚫</div> <div>取り扱い <ul style="list-style-type: none">本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。火災・感電・故障の原因になります。</div>

<div>⚠</div> <div>注意</div>
「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

<div>🔌</div> <div>電源</div>
<div>🚫</div> <div>電源プラグを差し込んだとき、ゆるみがあるコンセントを使用しない。火災・感電・やけどの原因になります。</div>
<div>👉</div> <div>電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。電源コードが破損して、火災・感電の原因になります。</div>

<div>🚫</div> <div>設置 <ul style="list-style-type: none">不安定な場所や振動する場所に置かない。落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。</div>
--

<div>🚫</div> <div>本製品を設置する際は、放熱を妨げない。 <ul style="list-style-type: none">布やテーブルクロスをかけない。 じゅうたんやカーペットの上には設置しない。 通風孔(放熱用スリット)をふさがない。 風通しの悪い狭いところへは押し込まない。 機器内部に熱がこもり、火災・故障・誤動作の原因になります。</div>

- 本製品を壁に設置する場合は、下記のマニュアルで指示された方法で設置する。
 - ユーザーガイド(ウェブサイトに掲載)
放熱が不十分だと製品内部に熱がこもり、火災・故障・誤動作の原因になります。

<div>🚫</div> <div>本製品を他の機種と重ねて置かない。火災・感電・やけどの原因になります。</div>

<div>👉</div> <div>下記のマニュアルで指示された方法で設置する。 <ul style="list-style-type: none">ユーザーガイド(ウェブサイトに掲載) 落下、転倒により、けが・故障・破損の原因になります。</div>
<div>🚫</div> <div>塩害や腐食性ガスが発生する場所、油煙や湯気の多い場所に設置しない。落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。</div>

- 本製品を移動する前に、必ずすべての接続ケーブルを外す。ケーブルに足や手を引っかけると、落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。

- 必ず専門知識を持った人が取り付ける。必要に応じて、お買い上げの販売店や専門の施工会社に依頼してください。不適切な取り付けは、けが・故障・破損の原因になります。

- 外部機器(ヤマハ製品別売品を含む)を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続する。説明に従って正しく取り扱わない場合、けがや故障の原因になります。

<div>👉</div> <div>お手入れ <ul style="list-style-type: none">お手入れをする前に、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電の原因になります。</div>
--

<div>🚫</div> <div>取り扱い <ul style="list-style-type: none">本製品のすき間に手や指を入れない。けがの原因になります。</div>

<div>🚫</div> <div>本製品のすき間に金属や紙片などの異物を入れない。火災・感電・故障の原因になります。</div>

<div>🚫</div> <div>下記のような、無理な力がかかることをしない。 <ul style="list-style-type: none">本製品の上に乗る。 本製品の上に重いものを乗せる。 ボタンや入出力端子などに無理な力を加える。 本製品にぶら下がる。 本製品に寄りかかる。 けが・感電・故障・破損の原因になります。</div>
<div>🚫</div> <div>接続されたケーブルを引っ張らない。落下や転倒により、けが・故障・破損の原因になります。</div>

使用上のご注意

ご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの消失を防ぐため、お守りいただく内容です。

<div>👉</div> <div>設置 <ul style="list-style-type: none">周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。その場合は、本製品の設置場所、向きや周囲の環境を変えてください。 次のような場所に設置しないでください。 <ul style="list-style-type: none">直射日光の当たる場所 極端に温度が高い場所や低い場所 ほこりが多い場所 故障・変形・動作不良の原因になります。 周囲温度が極端に変化するなど、結露が発生しそうな場所には設置しないでください。結露した状態で使用すると故障の原因になります。結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。 本製品を強い電磁波がある場所に設置しないでください。動作不良の原因になります。 通信ケーブルを電源コードなどに近づけて配線しないでください。大きな電圧が誘起され、動作不良の原因になります。</div>
--

接続

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティーを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆回線LANを含む)には直接接続しないでください。
- 本製品を接続している電源ラインにノイズを発生する機器を接続しないでください。故障・動作不良の原因になります。

- 100BASE-Tでご使用になる場合は、エンハンスドカテゴリー 5(CAT5e)以上のLANケーブルを使用してください。通信速度が低下する原因になります。

- PoE給電中のLANポートからケーブルを抜いて再度ケーブルを差す場合は、5秒以上間隔を空けて行ってください。故障・誤動作の原因になります。

<div>👉</div> <div>取り扱い <ul style="list-style-type: none">100BASE-Tでご使用になる場合は、エンハンスドカテゴリー 5(CAT5e)以上のLANケーブルを使用してください。通信速度が低下する原因になります。</div>
--

- 本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。パネルの変色・変質の原因になります。
- 本製品に触れるときは、身体や衣服から静電気を除去してください。静電気によって故障するおそれがあります。

お手入れ

- お手入れのときは、乾いた柔らかい布を使用してください。ベンジン、シンナー、洗剤、化学そうきんなどで製品の表面を拭かないでください。変色・変質の原因になります。

廃棄・譲渡

- 本製品および付属品を廃棄する際は、各自自治体の廃棄処分方法に従ってください。本製品を譲渡・廃棄する際は、本製品の設定内容を初期化してください。設定内容を初期化せずに譲渡・廃棄すると、第三者に個人情報が漏洩する原因になります。

重要なお知らせ

お知らせ

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

<div>👉</div> <div>製品に搭載されている機能 <ul style="list-style-type: none">弊社では製品のソフトウェアを継続的に改善しています。最新のソフトウェアは、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。</div>
<div>👉</div> <div>高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品</div>
<div>👉</div> <div>この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。(VCCI-A)</div>

<div>👉</div> <div>本製品の銘板 <div><div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div></div> <div>機種名（品番）、製造番号（シリアルナンバー）、電源条件などの情報は、製品の背面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を粉化した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくをお勧めします。</div>
<div>👉</div> <div>機種名</div>
<div>👉</div> <div>製造番号</div>

<div>👉</div> <div>本文書の記載内容 <ul style="list-style-type: none">本文書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。 本文書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。 本文書は発行時点での最新仕様で説明しています。最新版はヤマハウェブサイトからダウンロードできます。 本文書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。</div>

<div>👉</div> <div>本製品で使用しているオープンソースソフトウェア <ul style="list-style-type: none">ライセンス条文については、次のウェブサイトをご覧ください。https://network.yamaha.com/support/</div>
--

- 本製品を譲渡する際は、本文書と付属品も合わせて譲渡してください。
- 本製品および付属品を廃棄する際は、各自自治体の廃棄処分方法に従ってください。

保証とアフターサービス

<div>👉</div> <div>保証書 <p>保証書は本書に掲載されています。お買い上げを証明する書類(シートなど)とあわせて、大切に保管してください。</p></div>
--

<div>👉</div> <div>保証期間中の修理 <p>保証期間は保証書に記載されています。保証期間中は、保証書に記載の保証規定により無料で修理させていただきます。</p></div>
--

<div>👉</div> <div>保証期間後の修理 <p>ご要望により有料にて修理させていただきます。お買い上げの販売店または本書に記載されているサポート窓口までご連絡ください。</p></div>
--

<div>👉</div> <div>サポート窓口のご案内 <div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div><div><div><div></div></div></div></div></div>
--

本製品全般のお問い合わせ先
ヤマハネットワーク製品お客様相談センター
TEL：03-5651-1330
FAX：053-460-3489
受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
(土・日・祝日、弊社定休日、年末年始は休業とさせていただきます)
お問い合わせページ
ヤマハネットワーク製品サポート
https://network.yamaha.com/support/

お客様サポートについて(サポートポリシー)

ヤマハ株式会社は、お客様が本製品を快適にご利用いただけますように、また本製品の性能、機能を最大限に活用していただけますようにサポートをご提供いたします。詳しくは、下記のウェブサイトに掲載しているサポートポリシーをご覧ください。https://network.yamaha.com/support/policy/

<div>👉</div> <div>保証規定</div>
--

- 保証期間内に正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、本製品と本保証書をご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。本保証書をご提示できない場合には、お買い上げを証明する書類(シートなど)をご提示ください。
- ご購入品、ご購入後の修理についてお買い上げ販売店にご依頼できない場合には、ヤマハサポート窓口(本書に記載)にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本保証書もしくはお買い上げを証明する書類(シートなど)のご提示がない場合。
 - 本保証書もしくはお買い上げを証明する書類(シートなど)に、お買い上げの年月日、お買い上げの販売店の記入がない場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の移動、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障および損傷。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

※本保証書は本保証書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、またはヤマハサポート窓口(本書に記載)までお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきますのでご了承ください。

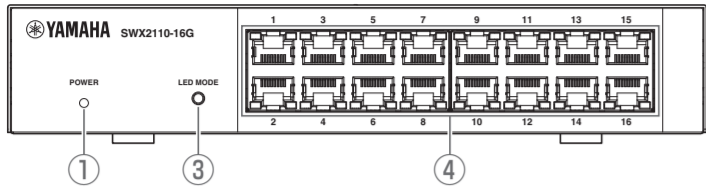
<div>👉</div> <div>保証書 <p>このたびはヤマハ製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。本保証書は、本書記載の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本保証書をご提示のうえお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。</p></div>				
<div>👉</div> <div>品名 L2スイッチ 品番 SWX2110-16G SWX2110P-8G 製造番号</div>				
<div>👉</div> <div>お客様 <table> <tbody><tr><td> <div>👉</div> <div>ご住所 〒</div></td> <td> <div>👉</div> <div>お名前</div></td></tr> <tr><td> <div>👉</div> <div>電話番号</div></td> <td> <div>👉</div> <div>（ ）</div></td></tr> </tbody></table> <div>販売店/住所/電話番号</div></div>	<div>👉</div> <div>ご住所 〒</div>	<div>👉</div> <div>お名前</div>	<div>👉</div> <div>電話番号</div>	<div>👉</div> <div>（ ）</div>
<div>👉</div> <div>ご住所 〒</div>	<div>👉</div> <div>お名前</div>			
<div>👉</div> <div>電話番号</div>	<div>👉</div> <div>（ ）</div>			
<div>👉</div> <div>お買い上げ日 年 月 日 保証期間はお買い上げ日から5年間です。</div>				
<div>👉</div> <div>※保証書は、「お買い上げ年月日」が確認できるシートなどと一緒に大切に保管してください。</div>				

ヤマハ株式会社 〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町 10-1

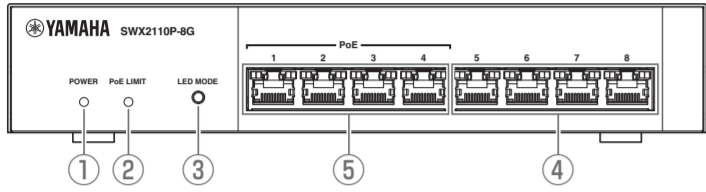
各部の名称と機能

前面

SWX2110-16G



SWX2110P-8G



① POWERインジケータ
通電時に点灯します。

② PoE LIMITインジケータ
SWX2110P-8GのPoE電源の電力使用量が63Wを上回っているときに点灯します。PoE電源の電力使用量が装置全体の最大供給電力(70W)を上回っているときに点滅します。

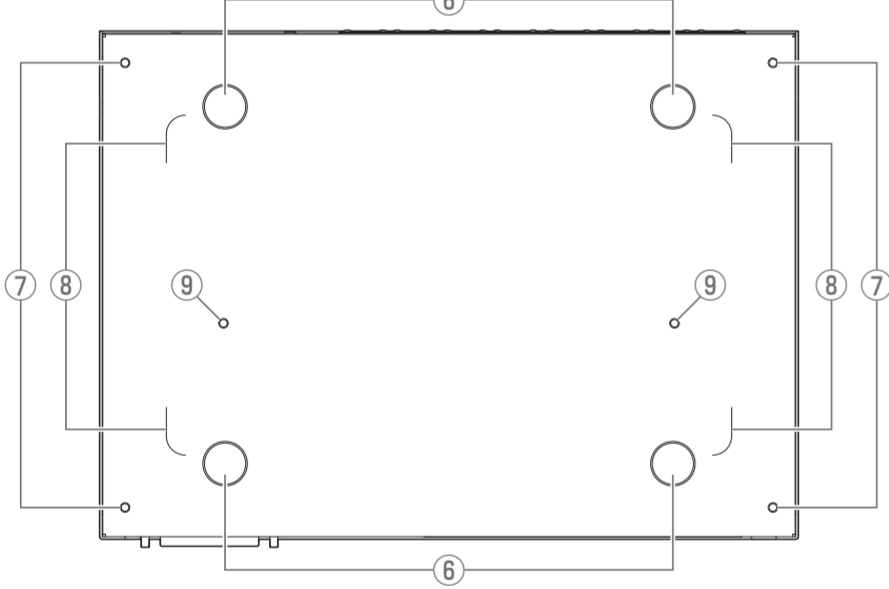
③ LED MODEボタン
電源が入っている状態で1秒以上の長押しをすると、LANポートのインジケータの点灯と消灯を切り替えます。
電源が入っていない状態で押しながら電源を入れ、10秒以上長押しをすると工場出荷時の状態に設定を戻します。

④ LANポート
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tのポートです。

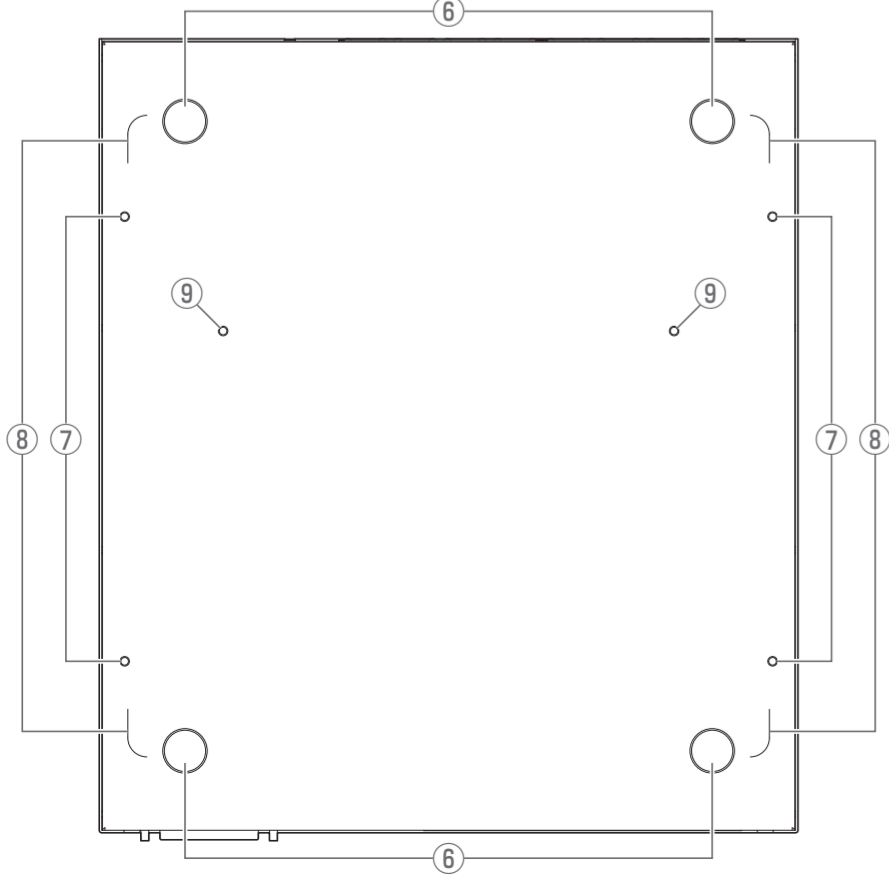
⑤ PoE給電対応LANポート
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tのポートです。IEEE802.3atに対応しています。

底面

SWX2110-16G



SWX2110P-8G



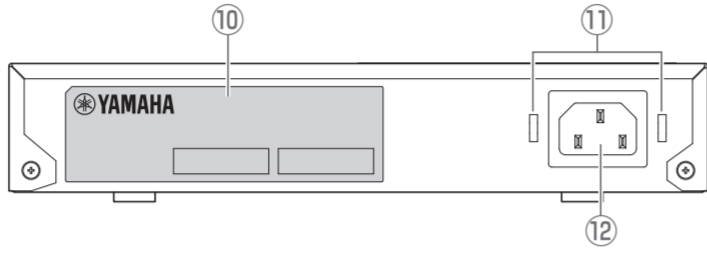
⑥ ゴム足取り付けガイド
水平面に据置き設置する場合に付属のゴム足を取り付ける位置です。

⑦ ウォールマウントキット取り付け穴
別売品のウォールマウントキットを取り付ける際に使用します。
取り付け方はユーザーガイドを参照してください。

⑧ マグネットシート取り付けガイド
スチール製壁面に設置する場合に付属のマグネットシートを取り付ける位置です。

⑨ ラックマウントアクセサリ取り付け穴
別売品のラックマウントキットを取り付ける際に使用します。
取り付け方はユーザーガイドを参照してください。

背面 (2モデル共通)



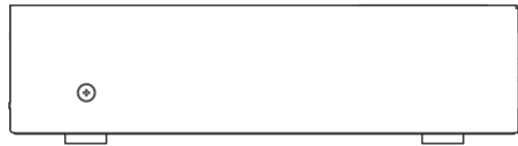
⑩ 製品ラベル
本製品の機器名、MAC アドレス、製造番号、などを記載しています。

⑪ 電源コード抜け防止金具取り付け穴
付属の電源コード抜け防止金具(コの字型)を取り付けます。

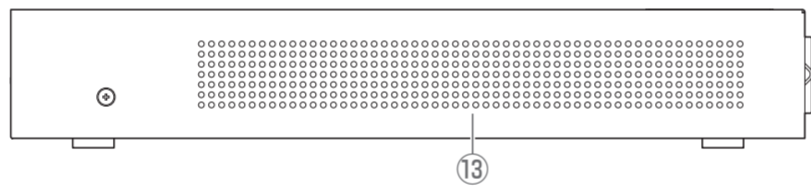
⑫ 電源インレット(3極コネクタ、C14タイプ)
付属の電源コードを差し込みます。AC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続します。

側面

SWX2110-16G



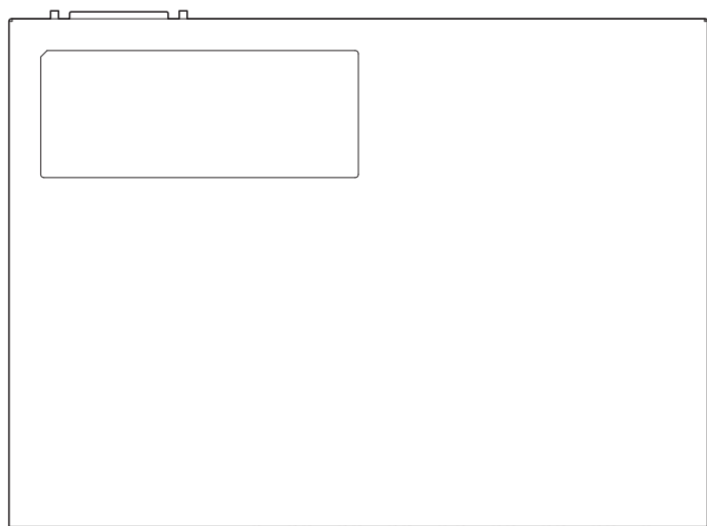
SWX2110P-8G



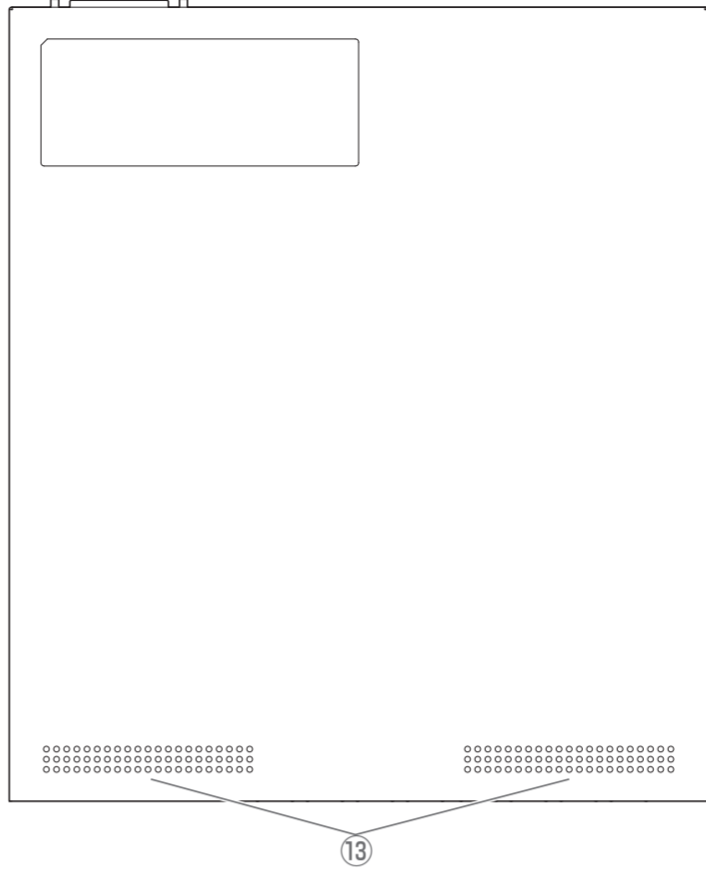
⑬ 放熱孔
内部の熱を逃がすための穴です。

上面

SWX2110-16G



SWX2110P-8G



ハードウェア仕様

項目	SWX2110-16G	SWX2110P-8G	
LANポート	規格	IEEE802.3 (10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T)	
	ポート数	16	8
	通信モード	オートネゴシエーション	
	コネクタ	RJ-45	
	極性	ストレート/クロス自動判別またはストレート固定	
PoE給電可能ポート数	—	4 (ポート1～4)	
PoE規格	—	IEEE 802.3at 準拠	
給電方式	—	Alternative A	
最大給電能力	1ポートあたり	—	30W (接続した受電機器の消費電力クラスにより異なります)
	全ポート合計	—	70W
対応PoE受電機器	—	IEEE 802.3af・IEEE 802.3at規格に準拠したPoE受電機器	
外形寸法 (突起物、ゴム足を含まず)	220 (W) x 40.5 (H) x 160 (D) mm	220 (W) x 40.5 (H) x 250 (D) mm	
質量 (付属品含まず)	1.3 kg	1.6 kg	
電源電圧、周波数	AC100～240V、50/60Hz (付属の電源コードを使用する場合は、日本国内 AC100V のみ使用可能)		
最大消費電力	10 W	84 W	
インジケータ	POWER, LINK/ACT, SPEED	POWER, PoE LIMIT, LINK/ACT, PoE STATE	
MAC アドレス	背面の製品ラベルに表示		
電波障害規格	VCCI クラス A		
動作環境条件	周囲温度	0～50℃	
	周囲湿度	15～80% (結露しないこと)	
保管環境条件	周囲温度	-20～60℃	
	周囲湿度	10～90% (結露しないこと)	

ソフトウェアライセンス利用規約

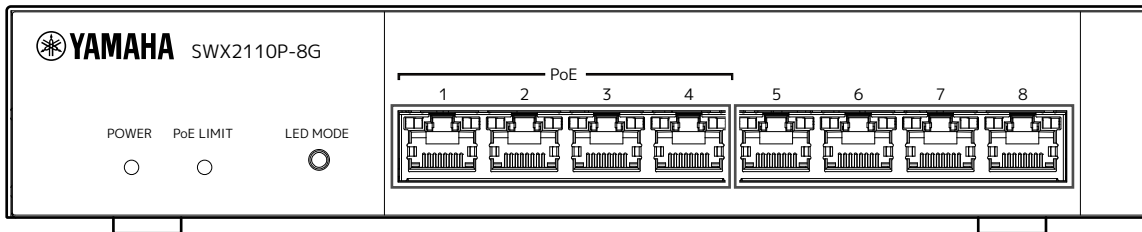
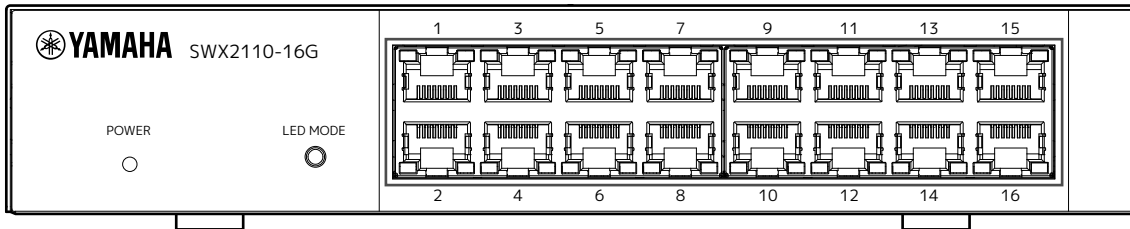
本製品は、ファームウェアをリビジョンアップできます。
ファームウェアのリビジョンアップ操作は、ヤマハネットワーク製品ソフトウェアライセンス利用規約に同意したとみなされます。ファームウェアをリビジョンアップする前に、必ずヤマハネットワーク製品ソフトウェアライセンス利用規約をお読みください。
ヤマハネットワーク製品ソフトウェアライセンス利用規約の内容に同意していただけない場合は、ファームウェアのリビジョンアップを行わないでください。過失を含むいかなる場合であっても、ヤマハは、本ソフトウェアに起因するお客様側の損害について、法令上免責が認められない場合を除き、一切の責任を負いません。

ヤマハネットワーク製品ソフトウェアライセンス利用規約

以下のウェブサイトで公開されています。
<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/firmware/license/LICENSE>

L2スイッチ SWX2110-16G SWX2110P-8G

ユーザーガイド



目次

1. はじめに	1
1.1. 本製品の特長	1
1.2. 付属品	1
1.3. 別売品	1
1.4. ウェブサイトのご案内	1
1.5. マニュアルのご案内	2
1.6. 本ガイドの表記について	2
2. 各部の名称と機能	3
2.1. 前面	3
2.2. 底面	4
2.3. 背面	5
2.4. 側面	5
2.5. 上面	6
2.6. LEDモードの切り替え	7
2.7. ポートのインジケータ	7
3. 設置	9
3.1. 水平置きで設置する	9
3.2. 19インチラックに設置する	10
3.3. スチール製壁面に設置する	12
3.4. スチール製壁面から取り外す	14
3.5. 壁面に設置する	15
4. 接続	19
4.1. ネットワーク機器やパソコンを接続する	19
4.2. PoE受電機器を接続する【SWX2110P-8G】	19
4.3. 電源コードを接続する	21
5. 設定	22
5.1. L2MSを使用して設定する	22
5.2. 本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す	22

1. はじめに

1.1. 本製品の特長

突発的なトラブルの解消に役立つLANの見える化

ヤマハルーターと本製品を組み合わせることでネットワークの末端まで把握できます。誤接続によるループの発生や不正な端末の接続を検出でき、速やかに対策を講じることができます。無線LANアクセスポイントやIPカメラなどのPoE受電機器の異常が発生した際は、SWX2110P-8Gからの給電を停止・再開することでトラブルの解消につなげます。

VLAN、QoSなどの機能を追加

部門・利用目的等によって仮想的にLANセグメントを分けるVLAN、フレームの優先度に従ってリアルタイム性を確保するQoS、不要なフラグディングを抑制することで帯域を有効活用するマルチキャストスヌーピングなど、小規模ネットワークでも有用な機能を厳選して追加しました。よりセキュアで帯域にやさしいネットワークの構築に貢献します。

設置性の向上

SWX2110-16Gは、金属筐体を採用し、従来のSWX2100-16Gに比べて小型化しました。SWX2110P-8Gは、ファンレスを維持したまま動作環境温度を40°Cから50°Cに引き上げることで、天井裏や倉庫など高温環境になりやすい場所にも設置しやすくなりました。また、両モデルにマグネットシートを同梱しているため、スチール製のデスクサイドやキャビネットの側面へ簡単に設置可能です。

1.2. 付属品

以下の付属品が同梱されているか、ご確認ください。

- ・はじめにお読みください（保証書付）
- ・AC100V用電源コード（1本）
- ・電源コード抜け防止金具（1個、付属AC100V用電源コード専用）
電源コードを取り付ける際に使用します。取り付け方は「[電源コードを接続する](#)」をご覧ください。
- ・ゴム足（4個）
水平置きで設置する場合に必要です。取り付け方は「[水平置きで設置する](#)」をご覧ください。
- ・マグネットシート（1枚）（SWX2110-16G: MGS-1710、SWX2110P-8G: MGS-2020）
スチール製壁面に取り付ける場合に必要です。取り付け方は「設置」の「[スチール製壁面に設置する](#)」をご覧ください。

1.3. 別売品

別売品の詳細については、以下のWebサイトをご覧ください。

ヤマハネットワーク製品オプション：<https://network.yamaha.com/>

1.4. ウェブサイトのご案内

別売品・はじめにお読みください・ユーザーガイド・技術資料は、下記のウェブサイトに掲載しています。

<https://network.yamaha.com/>

1.5. マニュアルのご案内

本製品の利用シーンに合わせた下記のマニュアルを用意しています。目的に合わせて適切なマニュアルをお読みください。

- ・はじめにお読みください（紙）
本製品をお使いになるうえでの注意事項が記載されています。ご使用前に必ずお読みください。
- ・ユーザーガイド（本ガイド）
本製品の設置方法、接続方法、設定方法が記載されています。

1.6. 本ガイドの表記について

- ・本ガイドの記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- ・本ガイドは、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハWebサイトからダウンロードできます。
- ・本ガイドに記載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ・本ガイドではそれぞれの社名・製品について、以下のように略称で記載しています。
 - ヤマハL2スイッチ SWX2110-16G、SWX2110P-8G：本製品
 - 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T ケーブル：LANケーブル
- ・本ガイドに記載されている記号とその内容は以下のとおりです。



警告

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。



注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。



重要

製品を正しく操作、運用するために、必ず知っておいていただきたい内容です。



メモ

操作や運用に関連した情報です。参考にお読みください。

- ・本ガイドは、一部のモデルだけに関する記載を以下のように表します。

表記	内容
【SWX2110-16G】	SWX2110-16Gだけに関する記載を表します。
【SWX2110P-8G】	SWX2110P-8Gだけに関する記載を表します。



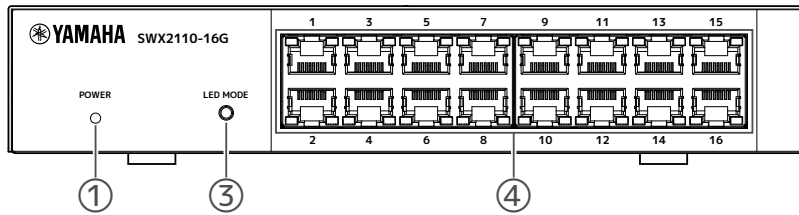
メモ

- ・全モデルに共通する記載には、モデル名は付いていません。

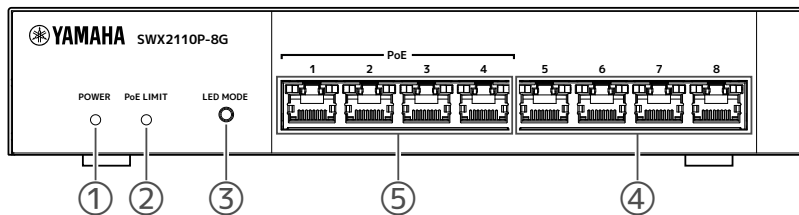
2. 各部の名称と機能

2.1. 前面

【SWX2110-16G】



【SWX2110P-8G】



① POWERインジケータ

通電時に点灯します。

POWERインジケータ	状態
消灯	電源OFF
点灯（緑色）	電源ON、正常

② PoE LIMITインジケータ 【SWX2110P-8G】

SWX2110P-8GのPoE電源の電力使用量が63Wを上回っているときに点灯します。PoE電源の電力使用量が装置全体の最大供給電力（70W）を上回っているときに点滅します。

③ LED MODEボタン

電源が入っている状態で1秒以上の長押しをすると、LANポートのインジケータの点灯と消灯を切り替えます。

電源が入っていない状態で押しながら電源を入れ、10秒以上長押しをすると工場出荷時の状態に設定を戻します。

④ LANポート

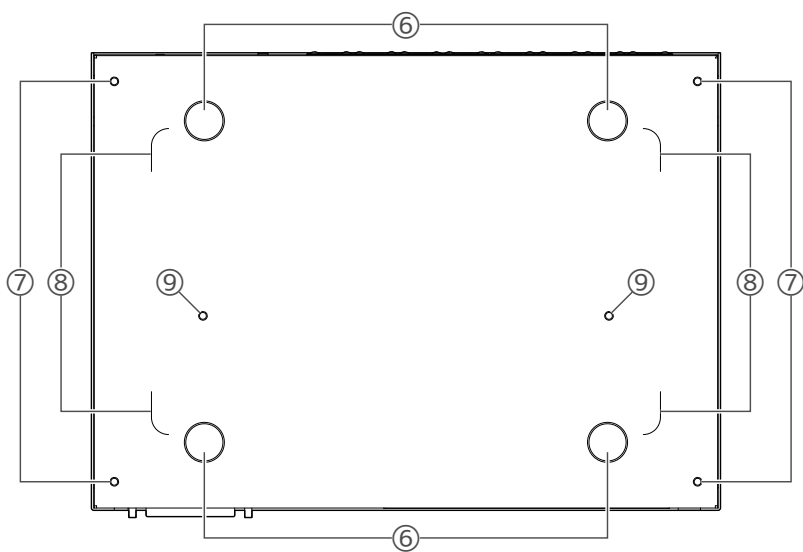
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tのポートです。

⑤ PoE給電対応LANポート 【SWX2110P-8G】

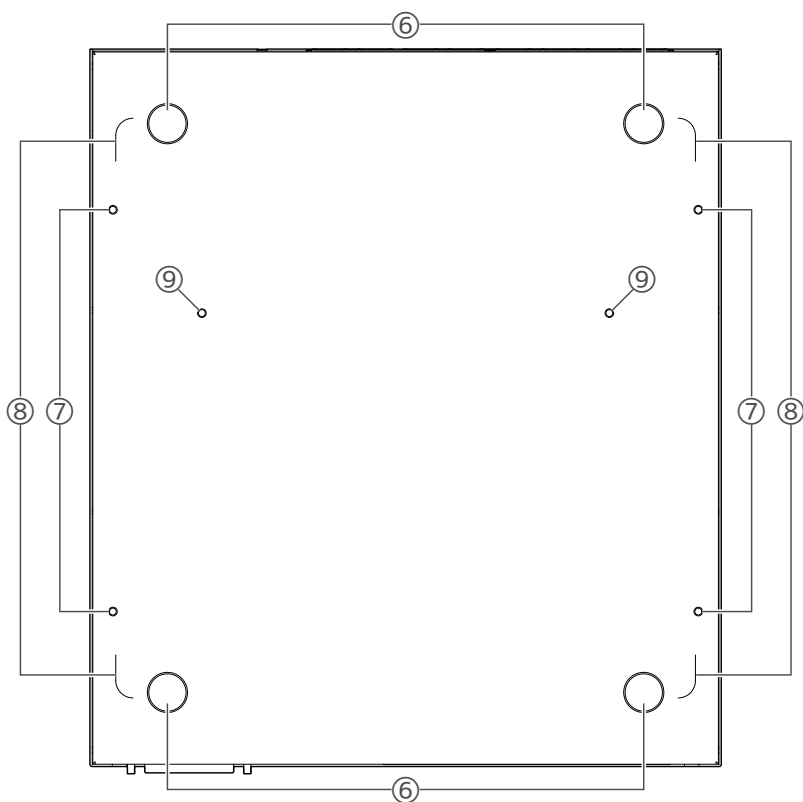
10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-Tのポートです。IEEE802.3atに対応しています。

2.2. 底面

【SWX2110-16G】



【SWX2110P-8G】



⑥ ゴム足取り付けガイド

水平置きに設置する場合に、付属のゴム足を取り付ける位置を示しています。取り付け方は「設置」の「[水平置きで設置する](#)」をご覧ください。

⑦ ウォールマウントキット取り付け穴

ウォールマウントキット専用付属金具を取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「[壁面に設置する](#)」をご覧ください。

⑧ マグネットシート取り付けガイド

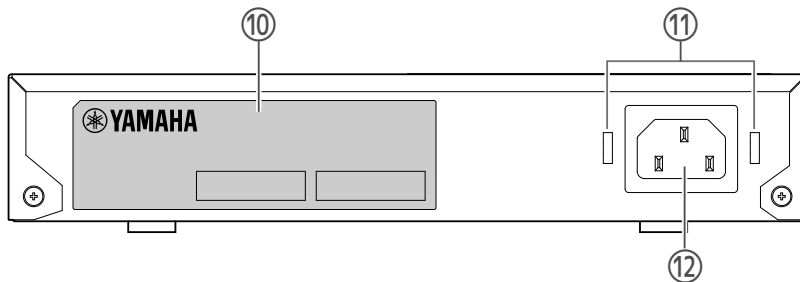
スチール製壁面に設置する場合に、付属のマグネットシートを取り付ける位置を示しています。取り付け方は「設置」の「[スチール製壁面に設置する](#)」をご覧ください。

⑨ ラックマウントキット取り付け穴

別売のラックマウントキット(19インチラック 1U サイズ)に取り付ける際に使用します。取り付け方は「設置」の「[19インチラックに設置する](#)」をご覧ください。

2.3. 背面

(2モデル共通)



⑩ 製品ラベル

本製品の機器名、MAC アドレス、製造番号、などを記載しています。

⑪ 電源コード抜け防止金具取り付け穴

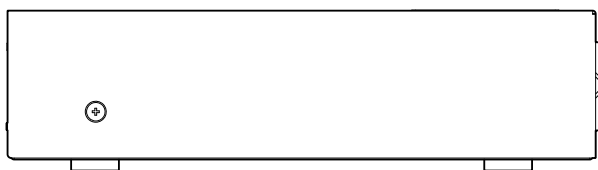
付属の電源コード抜け防止金具（コの字型）を取り付けます。取り付け方は「接続」の「[電源コードを接続する](#)」をご覧ください。

⑫ 電源インレット（3極コネクター、C14タイプ）

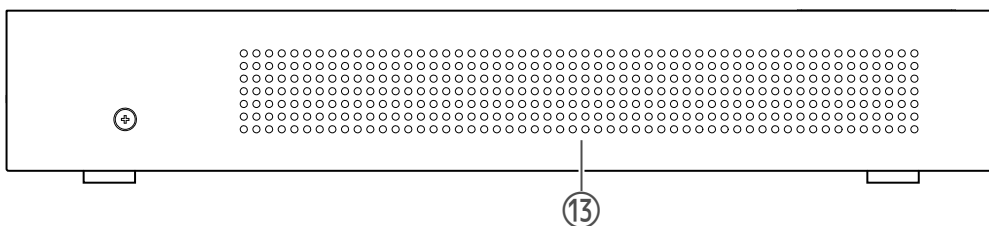
付属の電源コードを差し込みます。AC100V、50/60Hzの電源コンセントに接続します。

2.4. 側面

【SWX2110-16G】



【SWX2110P-8G】



⑬ 放熱孔【SWX2110P-8G】

内部の熱を逃がすための穴です。

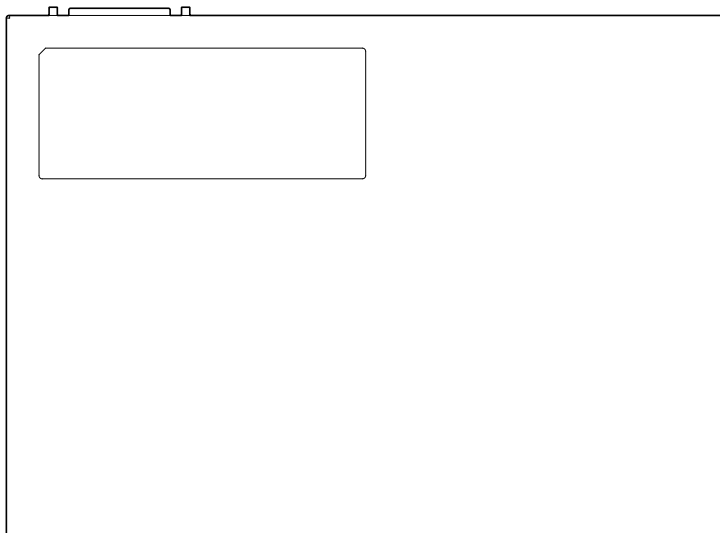


警告

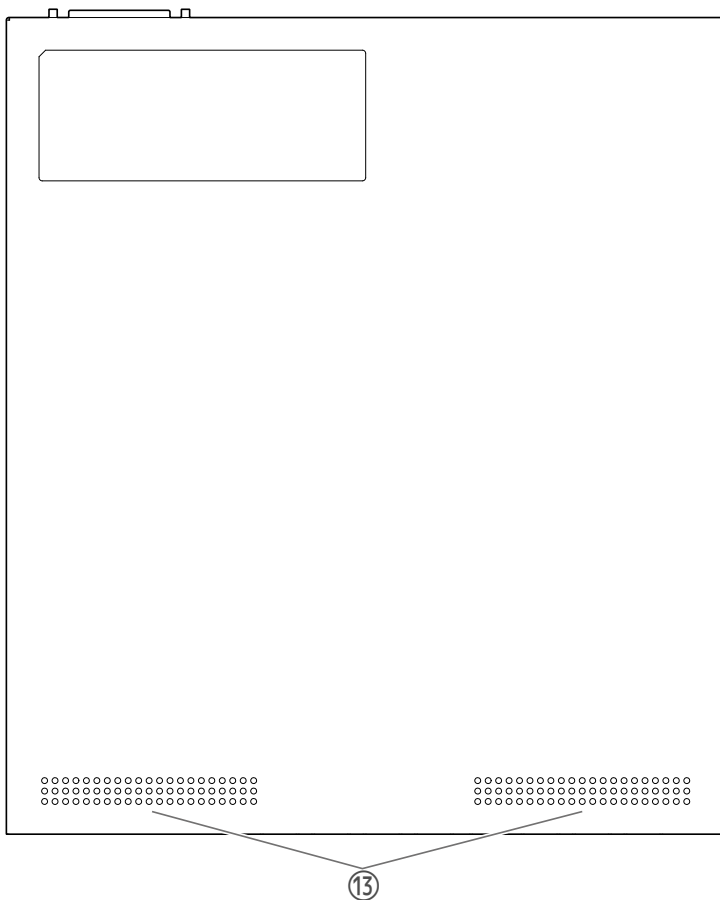
- ・ 放熱孔をふさいだり、周囲に物を置いたりしない。
火災や故障の原因になります。

2.5. 上面

【SWX2110-16G】



【SWX2110P-8G】



2.6. LEDモードの切り替え

LINK/ACT、SPEED、PoE STATEインジケータの点灯と消灯を切り替えます。
インジケータが点灯している場合にLED MODEボタンを長押し（1秒以上）すると、OFFモードになりインジケータが消灯します。
インジケータが消灯している場合にLED MODEボタンを長押しすると、LINK/ACTモードになりインジケータが点灯します。

2.7. ポートのインジケータ

【SWX2110-16G】

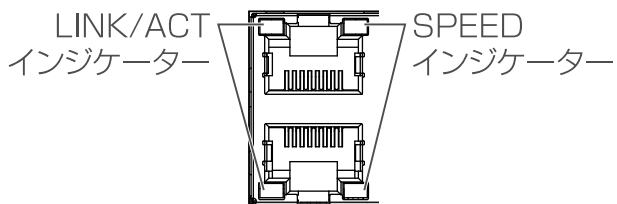
各ポートの左側がLINK/ACT インジケータ、右側がSPEED インジケータで、LAN ポートの状態を示します。

【SWX2110P-8G】 各ポートの左側がLINK/ACT インジケータ、右側がPoE STATE インジケータ

で、LAN ポートの状態を示します。PoE STATE インジケータは1～4番ポートのみ動作します。

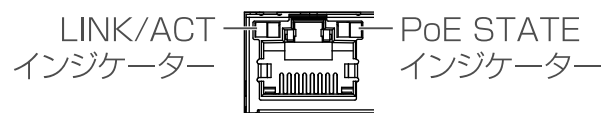
【SWX2110-16G】

LANポート



【SWX2110P-8G】

LANポート



2.7.1. LINK/ACTモード

LANポートのリンク状態と接続速度を表示します。

LANポート

LINK/ACTインジケータ	LANポートの状態
消灯	リンクを喪失しています。(使用不可) または、LED MODEボタンで消灯を選択しています。
点灯 (緑色)	リンクを確立しています。(使用可能)
点滅 (緑色)	データが流れています。
点滅 (橙色)	ループが検出され、ポートがブロッキング状態になっています。

SPEEDインジケータ	接続状態
消灯	以下のいずれかの状態です。 ・ 接続していません。 ・ 0BASE-Tで接続しています。 ・ LED MODEボタンでOFFモードを選択しています。
点灯 (橙色)	100BASE-TXで接続しています。
点灯 (緑色)	1000BASE-Tで接続しています。

PoE STATEインジケータ	給電状態
消灯	以下のいずれかの状態です。 ・ 給電していません。 ・ LED MODEボタンでOFFモードを選択しています。 ・ PoE給電非対応のポートです。
点滅 (橙色)	以下のいずれかの状態です。 ・ 総給電電力の制限により給電を停止しています。 ・ 総給電電力が63W以上のため給電を抑制しています。 ・ 過電流の検出により給電を停止しています。
点灯 (緑色)	給電しています。

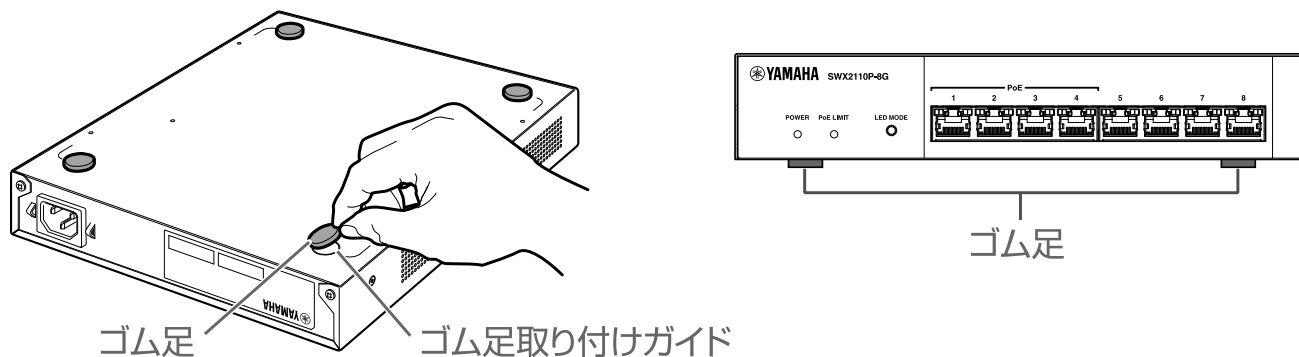
2.7.2. OFFモード

LANポートのインジケータを消灯します。

3. 設置

3.1. 水平置きで設置する

付属のゴム足をゴム足取り付けガイドの位置に図のように取り付け、デスクの上などの水平な場所に設置します。



注意



- 据え置き設置する場合は、必ずゴム足を取り付けてください。火災・やけどの原因になります。

メモ



- 本製品には、4個のゴム足が1つのシートに貼られて同梱されています。

3.2. 19インチラックに設置する

別売のラックマウントキットYMO-RACK1Uを使用して取り付けます。取り付け方法や注意事項など、詳細についてはラックマウントキット付属の「YMO-RACK1U取扱説明書」をご覧ください。

【取り付け方法】

中央ブロックに取り付ける場合を例に説明します。左右ブロックに取り付ける場合も、以下の手順に従ってください。

警告



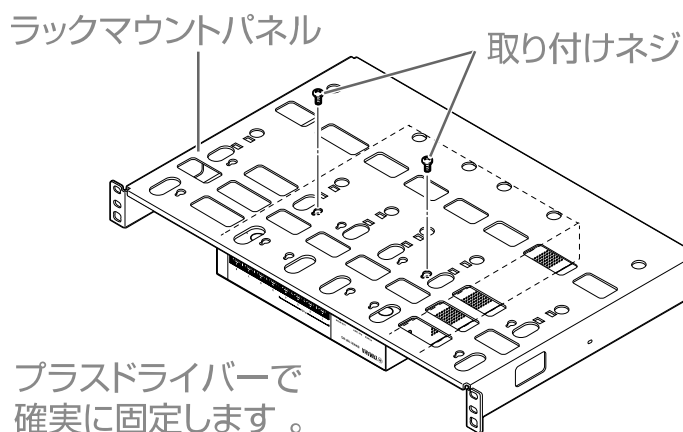
- ・ 取り付け、取り外しのときは、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。

重要



- ・ 本製品の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマウントパネルを取り付けてください。

1. ラックマウントパネルに本製品を取り付けます。
ラックマウントパネルに付属の取り付けネジ（2本）を使用し、本製品の底面にラックマウントパネルを固定します。

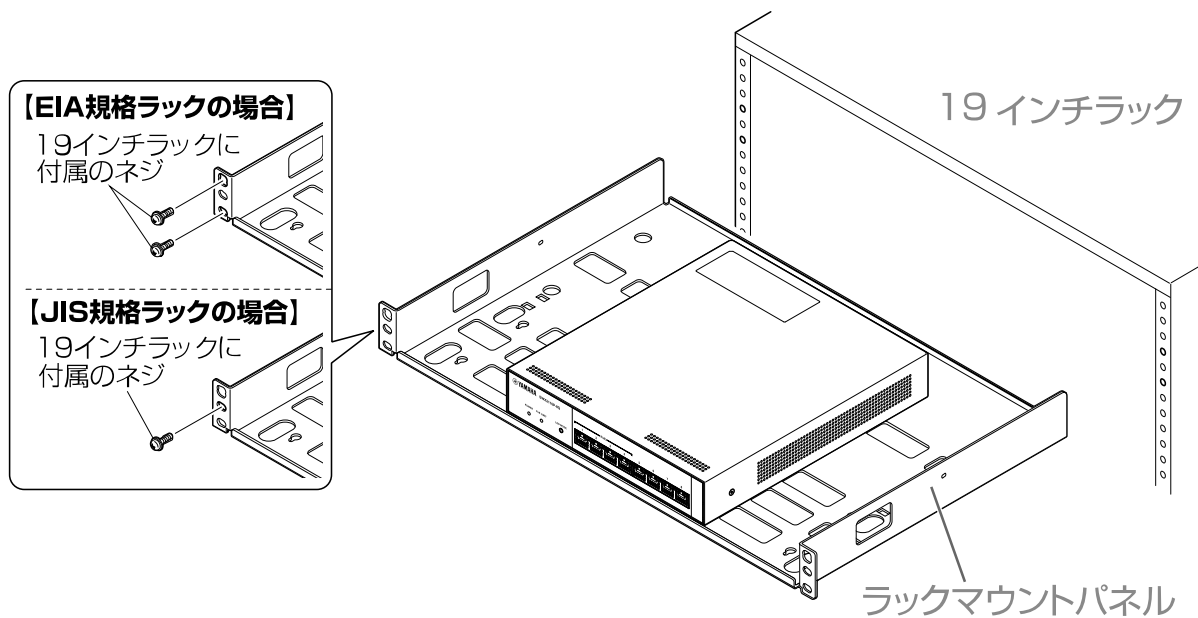


警告

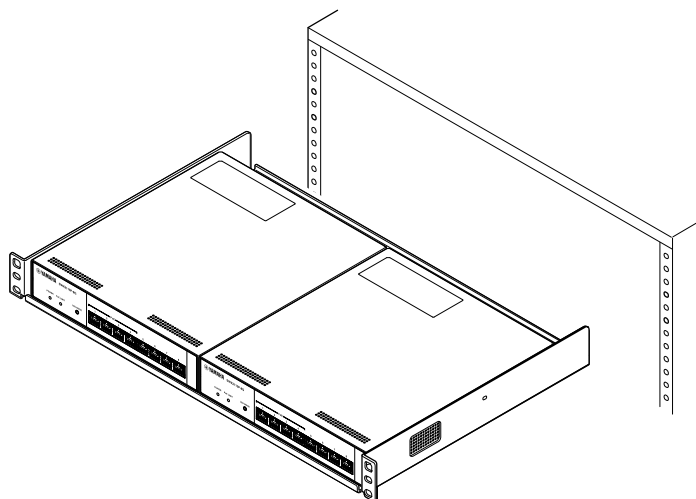


- ・ 本製品を別売ラックマウントキットYMO-RACK1Uに取り付けるときは、必ずマウントキット付属の指定されたネジを使用する。落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。

2. ラックマウントパネルを19インチラックに取り付けます。
19インチラックに付属の取り付けネジ（EIA規格4本、JIS規格2本）を使用し、19インチラックに本製品を取り付けます。取り付けネジがゆるまないように、十分に締め付けてください。



下図のように本製品を2台取り付けることもできます。



警告

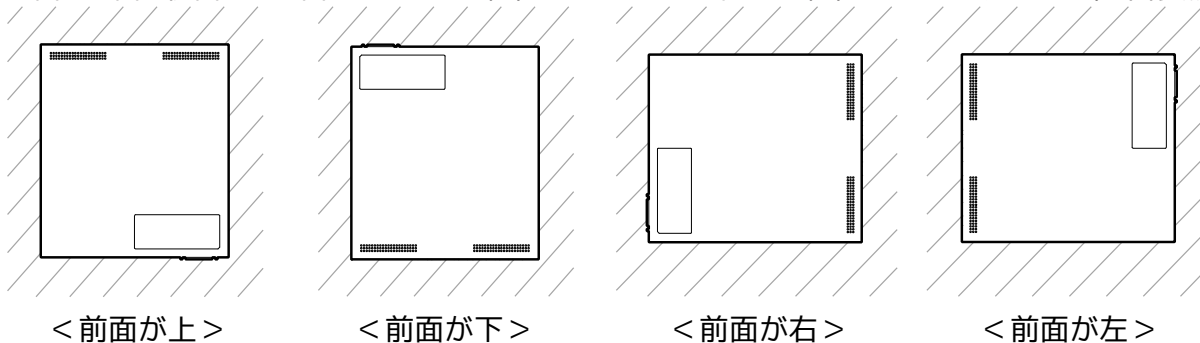
- 本製品の上面と側面にある通風口をふさがない。
火災や故障の原因になります。

3.3. スチール製壁面に設置する

付属のマグネットシートを使用して設置します。

【取り付けパターン】

前面、背面、側面のどの面を上にしても設置できますが、斜めには設置しないでください（下図参照）。



警告



- ・ 取り付け、取り外しのときは、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。

注意



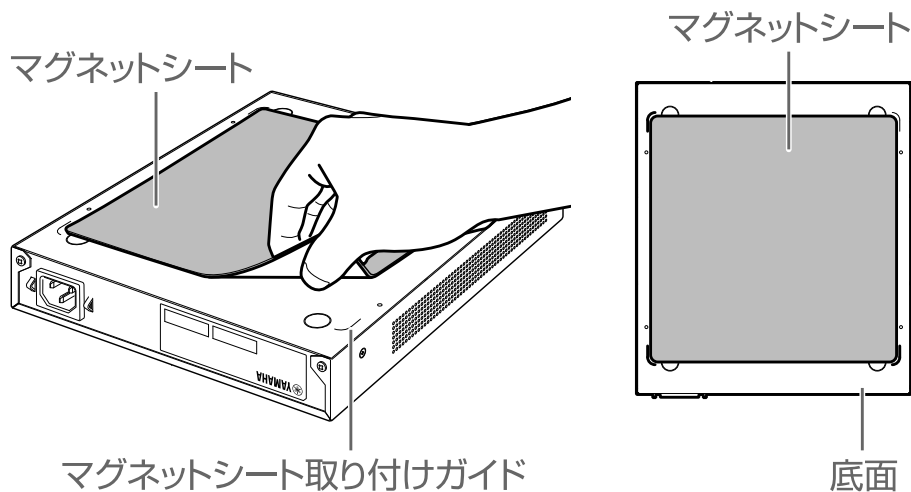
- ・ 本製品を、高所または天井に取り付けない。設置する場合は、高さ200cm以内に設置してください。落下によるけがや機器破損の原因になります。

重要



- ・ 本製品の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマグネットシートを取り付けてください。

1. 本製品にマグネットシート MGS-1710【SWX2110-16G】、MGS-2020【SWX2110P-8G】を取り付けます。付属のマグネットシートを、本製品底面のマグネットシート取り付けガイドに沿って貼ります。マグネットシートは、どちらの面も磁力の強さは同じです。



注意

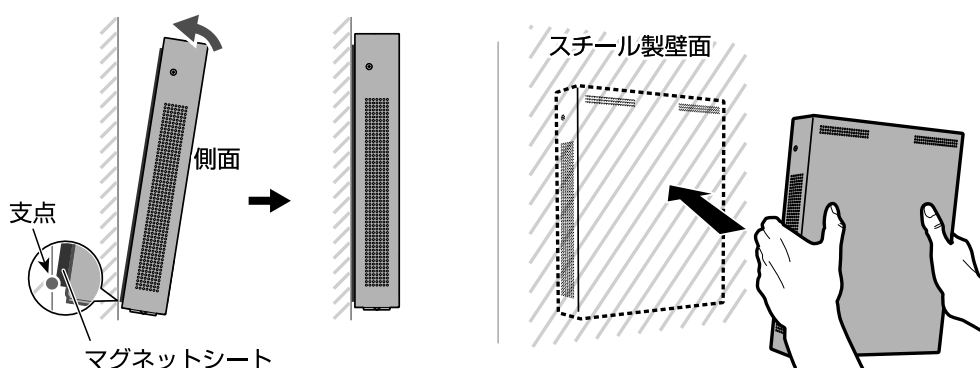
- ・付属品以外のマグネットシートを使用しない。また、付属品のマグネットシートを他の機器を取り付けるために使用しない。本製品や他の機器が落下して、けがの原因になります。

注意

- ・マグネットシートを切って使用しないでください。小さく切り分けて使用した場合、本製品が落下するおそれがあります。
- ・マグネットシートを取り付けた本製品を、スイッチなどのネットワーク機器に重ねて設置しないでください。機器の転倒や誤動作の原因となるおそれがあります。

2. 本製品を壁面に取り付けます。

取り付けを容易にするために、本製品の下端を支点にすることをおすすめします。

**注意**

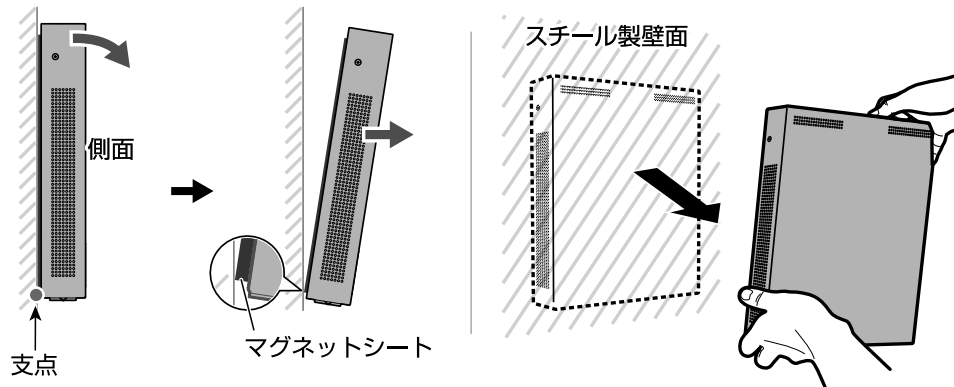
- ・本製品を壁面に設置するときは、本製品と壁面の間に指を入れない。マグネットシートの磁力は強力です。指がはさまり、けがの原因になります。
- ・本製品をマグネットシートで壁面に設置したあと、機器をずらさない。接触面積が小さくなるため、本製品が落下し、けがや機器破損の原因になったり、被着面の塗装などに傷がついたりするおそれがあります。
- ・ケーブルは必ず壁面などに固定する。ケーブルに手や足が引っかかると本製品が落下し、けがや機器破損の原因になります。

注意

- ・設置面の状態によっては十分な設置強度を得られない場合があります。取り付けの際、問題がないか確認してください。
- ・マグネットシート全体が壁面に密着するように取り付けてください。
- ・壁面に取り付けた際、マグネットシートと壁の間にケーブルなどが挟まっていないことを確認してください。

3.4. スチール製壁面から取り外す

取り外しを容易にするために、本製品の下部を支点にすることをおすすめします。また、端子に触れないよう、図のように持つことをおすすめします。



注意



- 本製品を壁面から取り外すときは、本製品をしっかり持つ。
マグネットシートの磁力は強力です。本製品が落下して、けがの原因になります。

3.5. 壁面に設置する

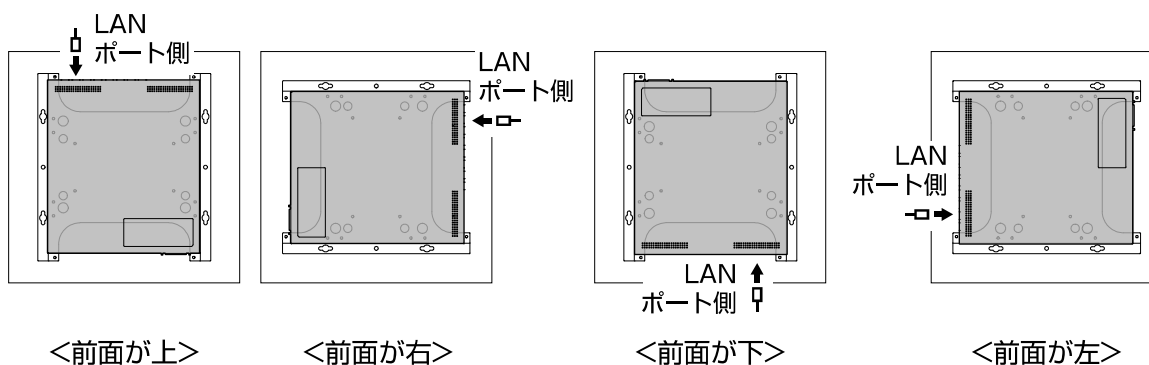
別売のウォールマウントキットYWK-1200Dを使用して設置します。取り付け方法や注意事項など、詳細についてはウォールマウントキット付属の「YWK-1200D 取扱説明書」をご覧ください。

【ご用意いただくもの】

- 壁用取り付けネジ（6本）
本製品およびウォールマウントキットには、壁に取り付けるためのネジは同梱しておりません。市販のネジをお買い求めください。
取り付ける壁の材質によって、ネジの種類と長さが異なります。必ず取り付ける壁の材質、厚みをご確認いただき、壁の材質に合ったネジをご使用ください。

【取り付けパターン】

前面、背面、側面のどの面を上にしても設置できますが、斜めには設置しないでください（下図参照）。



警告



- 取り付け、取り外しの際は、必ず本製品の電源プラグをコンセントから抜く。感電や故障の原因になります。

注意



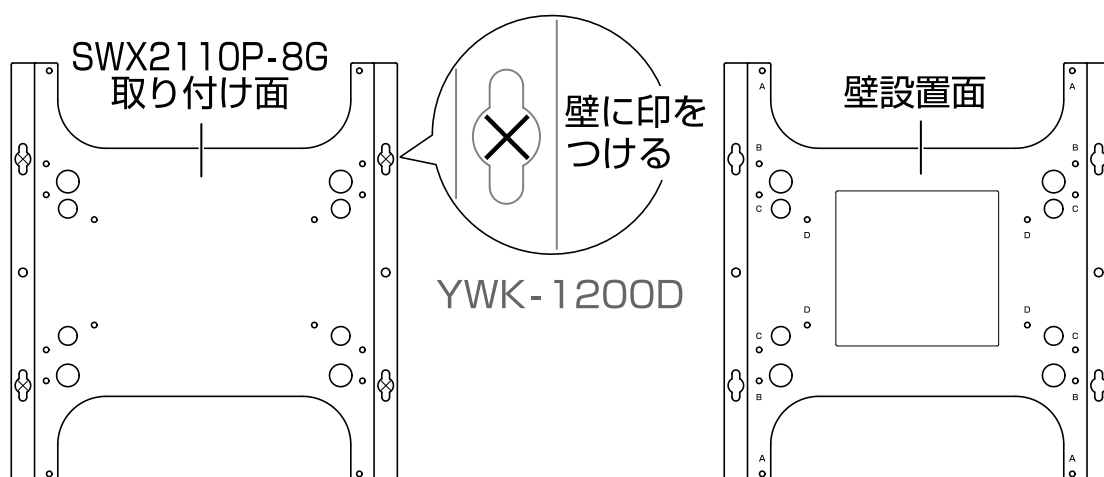
- 本製品を、高所または天井に取り付けない。
設置する場合は、高さ200cm以内に設置してください。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

メモ

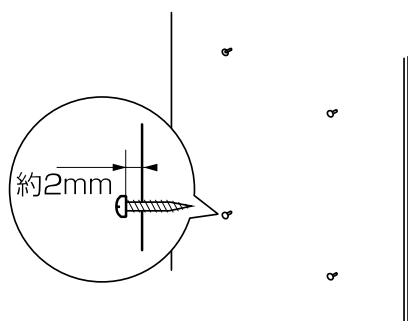


- マウント金具には、本製品を取り付ける面と壁に取り付ける面があります。取り付け面を間違えると、マウント金具を本製品に取り付けることができません。取り付け面については、手順1と手順3のイラストをご覧ください。

1. マウント金具を壁に当て、取り付け位置に印をつけます。



2. 手順1で印をつけた取り付け位置に、市販のネジ（4本）を仮止めします。
その際に、壁とネジのくび下に約2mmのマウント金具引っ掛けしろを残してください（下図）。

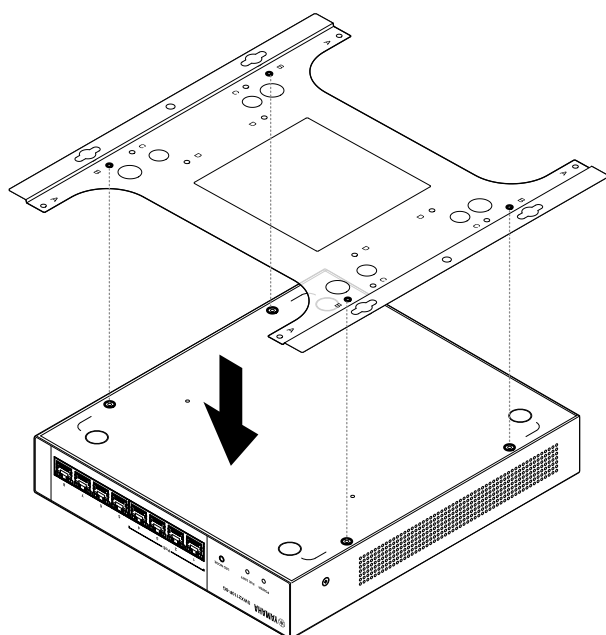


注意



- 必ず壁の材質に適合したネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

3. 本製品にマウント金具を合わせます（下図）。

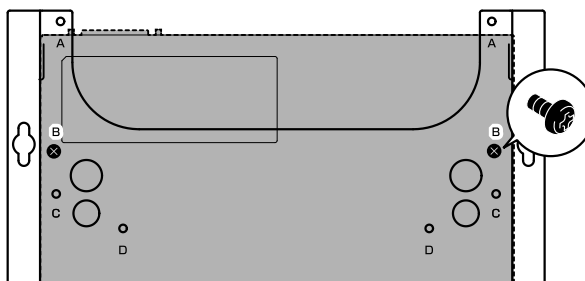


重要

- ・ 本製品の底面にレッグを取り付けている場合は、取り外してからマウント金具を取り付けてください。

- マウント金具を付属のネジ（4本）で本製品に取り付けます。
プラスドライバーで確実に固定します。

- ・ 使用するネジ穴：B
- ・ 使用するネジ：金属筐体用（黒色 小M3×4）

**警告**

- ・ 必ずウォールマウントキット付属の指定されたネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。また、感電や故障の原因になります。

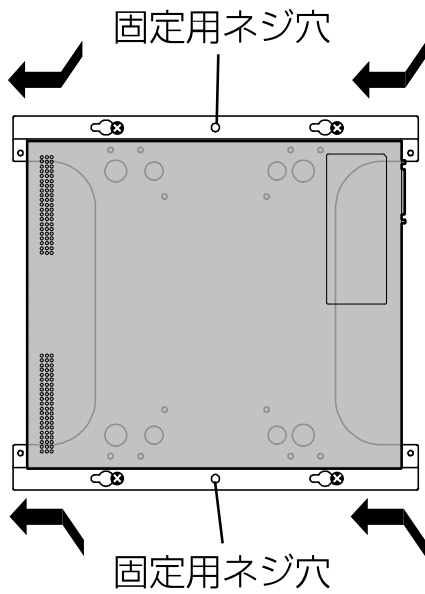
注意

- ・ マウント金具の角に手や指をかけるときは、注意する。
けがの原因になります。

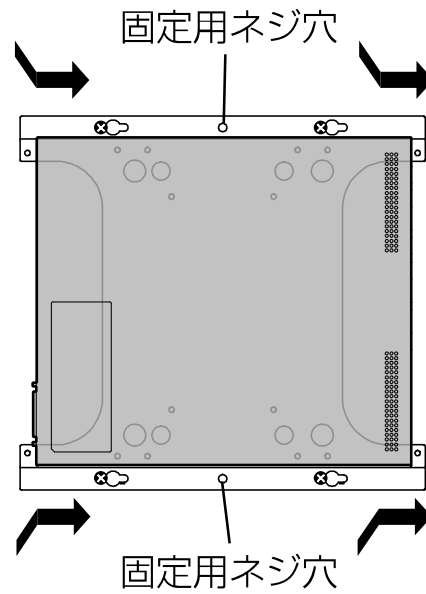
- 壁に取り付けた市販のネジに、組み上げたマウント金具を引っ掛けてずらしません。
取り付ける向きに合わせて、マウント金具をずらしてください（下図参照）。

- ・ 横向きに取り付ける場合：左または右にずらす
- ・ 縦向きに取り付ける場合：下にずらす

< 前面を左向きに取り付ける場合 >



< 前面を右向きに取り付ける場合 >



注意



- 本製品を落下させない。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

6. 仮止めした市販のネジを増し締めします。

7. マウント金具の固定用ネジ穴（2箇所）に市販のネジを取り付け、マウント金具を固定します。

注意

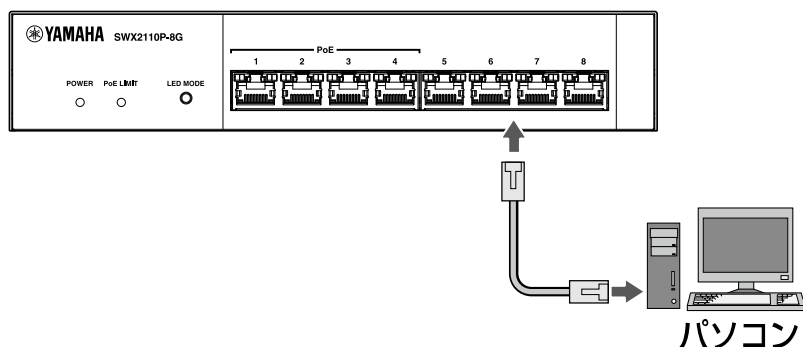


- 必ず壁の材質に適合したネジを使用する。
落下によるけがや機器破損の原因になります。

4. 接続

4.1. ネットワーク機器やパソコンを接続する

ネットワーク機器やパソコンのLANポートと、本製品のLANポートを、LANケーブルで接続します。



注意



- ・本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続してください。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定してください。電気通信事業者（移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど）の通信回線（公衆回線LANを含む）には直接接続しないでください。

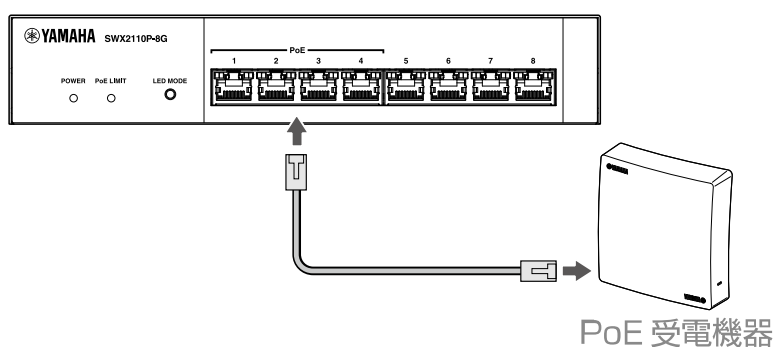
メモ



- ・LEDモードの切り替えで「LINK/ACT」モードにすると、ネットワーク機器やパソコンとの接続状態を確認できます。モードの切り替えや接続状態の詳細は「[LEDモードの切り替え](#)」および「[ポートのインジケータ](#)」をご覧ください。

4.2. PoE受電機器を接続する【SWX2110P-8G】

PoE受電機器のLANポートと、本製品のPoE給電対応LANポートを、LANケーブルで接続します。



警告



- IEEE802.3at規格対応の受電機器を接続する場合、PoE対応のLANケーブルを使用する。
規格に適合していないケーブルやフラットタイプやスリムタイプのケーブルを接続すると、火災や故障の原因になります。
- PoE給電中のLANケーブルを大量に束ねない。
束ねた部分の温度が上昇し、火災・故障・動作不良の原因になります。
ケーブルの温度定格を超えないように、束ねる本数を制限してください。

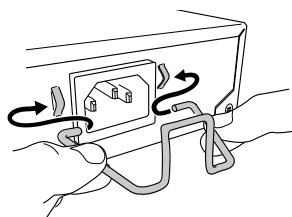
メモ



- PoE STATEインジケータで、PoE受電機器との給電状態を確認できます。給電状態の詳細は「[PoE STATEインジケータ](#)」をご覧ください。

4.3. 電源コードを接続する

1. 付属の電源コード抜け防止金具を取り付ける。
電源コードの不意の脱落を防止するために、付属の電源コード抜け防止金具（以下のイラストでは「付属の金具」）を電源コード抜け防止金具取り付け穴（以下のイラストでは「本体の穴」）に取り付けます。



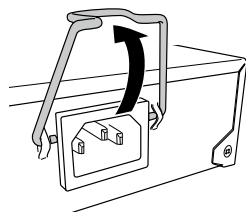
付属の金具を本体の穴に外側から差し込む。

注意

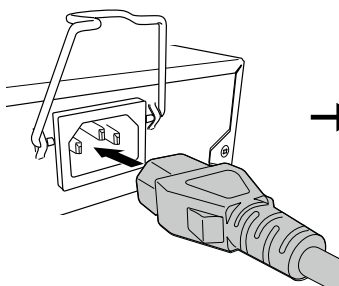


- ・ 付属の電源コード抜け防止金具は、付属の電源コード専用です。
- ・ 付属の電源コード以外では、コードが破損したり十分に固定できない可能性があります。

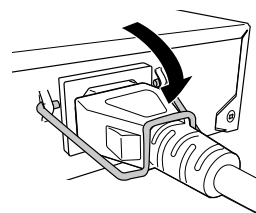
2. 付属の電源コードを電源インレットに接続し、金具で固定します。



① 金具を持ち上げる。



② 電源コードを接続する。



③ 金具を押し下げて固定する。

3. 電源アダプターのプラグをコンセントに接続する。
POWERインジケーターが緑色で点灯します。

メモ



- ・ 本製品には電源スイッチはありません。本製品に接続した電源コードのプラグをコンセントに差し込むことで、電源が入ります。

5. 設定

以下の方法で本製品の設定を行うことができます。

5.1. L2MSを使用して設定する

L2MS (Layer2 Management Service) 機能とは、本製品などのヤマハネットワーク機器をレイヤー2レベルで管理する機能です。L2MSマスター機能を持つヤマハルーター、ヤマハスイッチ、もしくはPCアプリケーション「Yamaha LAN Monitor」から本製品を設定できます。

詳しくは、以下のWebサイトで本製品のページをご覧ください。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/>

5.2. 本製品の設定を工場出荷時の状態に戻す

本製品の設定を、工場出荷時の状態に戻すまでの手順を説明します。

注意：工場出荷時の状態へ戻す場合は、以下の点にご注意ください。



- ・ 実行した直後にすべての通信が切断されます。
- ・ 工場出荷時の状態に戻した後は、設定内容を復元できません。

5.2.1. L2MSを使用して工場出荷時の状態に戻す

L2MSマスターから本製品を工場出荷時の状態に戻すことができます。詳しくは、以下のWebサイトで本製品のページをご覧ください。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RT/docs/>

5.2.2. LED MODEボタンで工場出荷時の状態に戻す

電源OFF時に、前面のLED MODEボタンを押した状態で電源を入れると、設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

メモ



本製品には電源スイッチはありません。本製品に接続した電源コードのプラグをコンセントに差し込むことで、電源が入ります。

1. 前面のLED MODEボタンを指で押した状態で、電源を入れます。
本製品が起動します。
2. LED MODEボタンを押したまま、すべてのインジケータが点灯するまで10秒間ほど待ちます。
本製品に保存されている設定を工場出荷時の状態に戻します。
3. LED MODEボタンから指を離します。

Manual Development Group
© 2021 Yamaha Corporation
2021年4月 発行
YJ-A0